

# 社会を明るくする運動

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」。市では啓発事業の一環で、市内の小中高校生を対象に作文を募集しました。広報9月～11月号にて各部門の最優秀作文を紹介します。

小学生の部最優秀作文

## ルールを守り、やさしい気持ちで

花房小学校6年 うえむらみなみ 上村南海さん



社会を明るくするにはどうすればいいか、私なりに考えるために、最近多かったニュースを振り返ってみました。すると、交通事故が多いことに気が付きました。車と車が衝突する他にも、車が保育園児の列に突っ込んで保育園児が亡くなったり、非常識なあおり運転でいやな気持ちになったり、実際に事故にあわれたりした方もたくさんいらっしゃいます。

事故を起こした人は、早く右折したいとか、自分がスピードを出したいから、ゆっくり走っている車にイライラしてあおるとか、自分の気持ちしか考えていなかったのだと思います。もう少し、ゆずり合ってください。こんなにくさんの命を落とすことはなかったと思います。花房小学校の通学路の387号線は、交通量が多く、横断歩道がない道路をわたるとき、とても苦労します。だから、地域の方が朝早くから見守りをしてください。また、私たちがせまい通学路を通っているとき、花房校区の方は、ゆっくりとスピードを落として通り過ぎてくれます。だから、私も花房小学校の「交通安全5つの誓い」にあるように、しっかりとルールを守って歩いたり、自転

車に乗ったりしなくてはならないなと思います。相手のことを優しい気持ちで考えることが、ルールを守ることにつながり、やがては明るい社会につながるのだなと思います。

次に気付いたのは、いじめや差別が原因で自殺をする人がいることです。学校でのいじめやSNSでのいじめで自殺をしたり、不登校になったりする人が少しずつ増えています。私は、いじめをしている人には、自分から

「そんなことをしたらダメだよ。」と優しく言って、悲しんでいる人はいないか等、いつも周りをしっかり見ようと思いました。また、注意するときも強く言うてしまうと相手も傷ついてしまうことがあるので、優しく注意したいです。

以前、私自身も、本当のことを知らないまま、友達のことを悪いと決めつけて傷つけてしまうことがあったので、周りの状況をよく見たり、いろいろな友達から話を聞いたりして、自分自身で考えて発言するようにしたいと思います。SNSでもいじめがあるようなので、私は、人の悪口や他の人が言った悪口に乘っかって言ってしまうように気をつけたいです。そして、みんなと仲

良くした方が絶対に楽しいと思います。

先日、家族で出かけた時、弟が買ったばかりのタピオカドリンクをひっくり返してしまおうということがありました。お店の床も汚してしまったので、お母さんが謝罪に行くと、店員さんが、  
「大丈夫ですよ。もう1つ作りましょうか？」

と言ってくれました。弟が悪いので断り、車に乗って帰ろうとしたとき、店員さんが、

「ちょっと待ってください。せっかく来てくれたのに悲しい気持ちで帰るのはかわいそうなので。」

と言って、わざわざタピオカドリンクを作ってきてくれました。すると、車の中でしょんぼりしていた弟が、一しゅんで元気になり、家族みんな幸せな気持ちで帰ることができました。

私は、ルールを守ることも大切だし、それと同じくらい、優しい気持ちでみんなにふるまうことが大切だと実感しました。それに、私もこんな優しい人になりたいと思いました。そして、みんなを明るい気持ちにしたいです。